

第1回 小淵沢周辺地区都市再生整備計画事業推進協議会議事録

- 1 会議名 第1回 小淵沢周辺地区都市再生整備計画事業推進協議会
- 2 開催日時 平成26年8月28日(木)午後2時00分～午後4時40分
- 3 開催場所 北杜市役所本庁舎北館3階大会議室
- 4 出席者(敬称略)
出席者
茅野 光一郎、小林 健展、坂本 興一、高田 一彦、小林 千鶴子、草野 香壽恵
氏原 宏幸、鈴木 正吉、小林 伸一、卯月 盛夫
欠席者
清水 純子、久保 秀博
事務局
神宮司 浩建設部長、坂本 孝典まちづくり推進課長、
景観まちづくり担当リーダー植松 宏夫、唐澤 史明、高橋 剛
東京芸術大学
北川原 温、山崎 日希、吉川 青、城代 晃成、星野 義晴
会議録署名委員
茅野 光一郎、小林 健展
- 5 議題
 - (1) 開会と委嘱状交付
 - ①開会
 - ②委嘱状交付
 - ③市長あいさつ
 - (2) 推進協議会
 - ①自己紹介
 - ②推進協議会の設置要綱について
 - ③会長、副会長の選出
 - ④会長あいさつ
 - (3) 協議事項
 - ①北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱の説明
 - ②小淵沢駅舎改築・駅前広場整備事業の概要と経過説明
 - ③小淵沢駅周辺地域活性化について
 - ④その他
- 6 公開・非公開の別
公開

7 傍聴人の数

2人

8 審議内容

①推進協議会の設置要綱の説明

事務局より説明を行った。

②役員選出

会長に卯月 盛夫委員、副会長に茅野 光一郎委員を選出した。

③議事

- ・北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱の説明

事務局より説明を行った。

- ・小淵沢駅舎改築・駅前広場整備事業の概要と経過説明

経過説明を事務局が行い、小淵沢駅舎改築・駅前広場整備事業の概要を北川原 温教授が行った。

(会 長) ただいまビジュアルに北川原先生から説明がありましたので、どんな内容のことでも結構です。初めてご覧になった方はいるのでしょうか。質問や意見をいただきたい。

(委 員) 私は小淵沢町に住んではいません。長坂町に住んでいる者です。この委員を仰せつかった時に、小淵沢駅や駅前がどんな状況なのか見に行きまして参りました。

一番心配していたのは、甲府に近いところに新しく駅ができて、あのような駅なら嫌だなと心の中で思っていたので、北杜市の自然と地域に合った駅を造ってくれたと今のプレゼンテーションを見てわかりました。聞いていだけで鳥肌が出るほど、素晴らしく感じました。窓があってそこからは、八ヶ岳や他の山々が見えて、屋上には太陽光パネルを付けたり、他にもまだまだあるのでしょうか、これを聞いただけでも楽しみになり、小淵沢町に住みたくなりました。

私は小淵沢町に住んでいないので、地域の状況はわかりませんが、もし観光客として訪れたとしたら、感激する駅舎だと私は思いました。

(会 長) お褒めの言葉でした。

それ以外にもどうぞ。

(委 員) 私もだいぶ前からこの協議に関わっているものですから、一通りの流れは理解しているのですが、駅舎や駅前広場について、今の説明にいくつか個人的に質問をしたいのですが、大前提としてこのような実施設計の段階まで、ことは進んでいるかと思えますけど、一昨年小淵沢町でテーマは違ってもワークショップを市はやっていた。その時に駅舎の具体的な設計には、住民の声は届かないが、駅前広場や地域の活性化ということには、住民の声

は届くというお話を聞いていました。昨年は、ほとんど動きが無くて、地域住民もその後どうなったのだろうという話を良く聞くものですから、それをまずお伝えしたい。要するに地域住民に地元での説明と意見を聞いていただけるという場を今後設けていただけるのかということをお聞きしたい。

(会 長) 事務局はどうですか。

(事務局) では事務局からお話します。昨年度なかなか進捗が無かったというのは、JRとの協議が長引きまして、停滞していたことがありました。動きが無かったため、報告出来るが無かったのですが、先程、経過説明の中で、区長会や地域委員会の中で、状況等を説明しております。今後この協議会等で決まったことなどは、区長会や地域委員会、また地域の皆様に報告できる場というものを検討していきたいと思う。

(委 員) 今の話を期待しまして、地域の方にも報告しておきます。このことは、一機関の代表者にお知らせすれば良いというレベルの話ではないと思います。それと北川原先生が冒頭に、第一の目的としては、安全性とか利便性とおっしゃっていましたが、地域住民が必然的に使う訳で、彼らが実行前の計画をお聞きして理解するというのが、この先の活性化などにつながっていくと以前から申し上げております。そういった在り方をぜひ市も努力していただいて、出来るだけ事前に早い時期に実行していただきたい。ですからその時にも100パーセント設計は終わっていますというお話は無いようにしてほしい。少なくとも多目的スペースであったり、駅広の利便性や安全性については、地域住民の反応を確認しないとイケないと強く思いますので、取り組んでいただきたい。そして、そのことを期待して、細かな質問はその時に、またお話しさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(会 長) 今のお話をお聞きしていて、私自身が今後のスケジュールを知らないというのは、無責任なのかもしれないですが、少し詳しく教えていただけますか。この委員会は、3年続くと要綱の説明の時におっしゃっていましたが、まだもちろん着工していない訳ですよね。どこまでこの議論をして、いつから着工するのか。結構時間がかかると伺っていますが、どんな形で駅舎と駅前広場の最終の設計及び工事に進むと考えたら良いのでしょうか。共有に認識していた方が、議論しやすいと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局) では、今後のスケジュールですが、工事についての予算ですが、9月議会に計上させていただきまして、可決されれば今年度中に着工したい。今年度分の着工については、駅舎から見て西側の駅前広場です。駅舎については、JRへ施工委託をしまして、JRで工事発注する予定でいます。駅については、こ線橋を着工しまして、駅舎につきましては、平成27年度に着工します。全ての工事の完成については平成28年度末を目指します。

- (会 長) そうしますと、先程ご指摘があった地元の方々に対するご説明というものは、議会の前になるのでしょうか。後になるのでしょうか。
- (事務局) 10月か11月。工事が着工する前には説明会の開催を検討しております。
- (会 長) 議会で決まった後、出来るだけ早い段階で説明をして、着工に向けて努力をするということですかね。ありがとうございます。
- それでは他の委員の方はいかがですか。
- (委 員) 小淵沢町の者ですけども、現在の石垣が高いのですが、この画で見なすと、少し低くなって、GLが下がるとみてよろしいでしょうか。利用客は雪が降ったあと、凍って入口が滑りやすくて、大変不便を感じていました。そのあたりの改善がどのようになっているのか教えていただきたい。
- (北川原) はい。現在の入口ですが、商店街から入ってくる時、急勾配になっていますが、これはまったく新たに改善しまして、安全な緩い勾配になります。
- それからもう一つ石垣の高さですが、今一番高いところが広場の中央になるのですが、この高さが3メートルくらいになります。出来るだけ低い方がよいとは思いますが、駅前広場のレベルを下げると、こ線橋の高さと駅舎の高さが合わなくなってしまい、コストも増えることになります。広場の造成に関するコストも増えることになってしまい、とにかくコストを最小限にするために、検討を行ってきました。擁壁の高いところでは3メートルぐらいですが、両端の低いところでは、2メートルを切るぐらいの高さになっております。私共も出来るだけ低い方がよいと思っていますので、施工時には気を付けてまいりたいと思います。
- (会 長) その他にいかがでしょうか。
- (委 員) 私の記憶が間違っていたら謝りたいのですが、冒頭で説明を受けましたが、過去に2回の協議会を行ってきました。先程、地域での意見を聞いてという意見が出ました。事務局の担当者が変わったという理由もあるのだろうけども、過去には地域住民への説明会や模型を展示して説明をしたりしています。今の話ですと、工事着工が今年度ということは、これから議会を通して、地域住民への意見を聞いて、様々な意見が出た場合に、はたしてその意見を設計に反映ができるのかということです。少なくとも、私が最初の頃に聞いた予定では、10月には着工予定だったと思う。9月に議会を通して、それでは着工しようという時に、地域住民の皆さんから改めて意見を聞いて、色々なものを否定された場合に、設計や施工に反映できるのかということをはっきりしておかないと、色々その後で問題になると思いますけど、その辺の意見を聞かせてください。
- (会 長) 今年度部分的に着工をするのですよね。
- (事務局) 基本的には議会は通していただいて、ただいま説明したようにこ線橋と広場

西側の施工を開始します。説明会の開催はしますが、例えば駅前広場を1メートル下げてくださいとか、大きな変更は無理だと思います。仮に出来るとすれば、どうしても広場の真ん中に階段が欲しいということがあれば、出来るかもしれませんが、基本的には、今北川原先生が説明してくれた内容でないと工期が間に合わなくなります。当初平成26年度の10月頃の着工予定だったものが、既に3ヶ月も延びてしまっています。大きな変更が生じてしまうと、工期が間に合いませんし、国庫補助金の期限にも間に合わなくなってしまいます。軽微な変更は可能かもしれませんが、大きな変更は無理だと思います。ご理解いただきたい。

(会 長) よろしいでしょうか。

(委 員) 良くわかったのですが、住民に説明会を開くということは、どんな質問やどんな要求が出てくるかわからないじゃないですか。当然今までも説明会をやって来ているのです。その時にとんでもなくお金がかかるような意見が出されたりしました。ただ、今の回答だと細かな変更については可能性があるかもしれないけども、大がかりな変更が出来ないということであれば、前もって十分に説明しておかないと、中部横断道の問題ではないですが、誤解を招かなければ良いのですが。説明会を開催するという事は、私は事務局でそのくらいの答えを持って開催しないと、たいへんな思いををすると思います。以上です。

(会 長) 事務局お願いいたします。

(事務局) 市民説明会は、以前からも行っておりまして、ワークショップも開催し、その中で意見を吸い上げて今回の設計の中に反映させた部分もあります。逆に、これはどうしても厳しいという部分については反映できてはいません。それはまた説明会の方で説明させていただきます。

(会 長) 私は地元のことがわからないので、言いにくいことがあります、結構長い時間をかけて来ています。相手がJRということもあって、長期間になることはやむをえないのですが、正確な情報が住民の方々に行っているかということは、私もちょっと不安があります。今までの長い経過の最終段階ということですので、今までの市民の皆さんから出た意見はリストアップして、出来たこと、出来なかったこと、更にまだ検討しなければならないことを、きちんとした資料を市は用意しなければならないと思います。その都度出された意見に対応していくというのは、やはり皆さんの期待も大きい訳ですから、今まで出た不安や当然期待も大きい訳ですから、全部整理をして文書を配って、それでも現場に来て説明を聞きたいという人も絶対にいる訳ですから、相当な準備をする。良いことをやっている訳ですから、準備をして対応して欲しいと思います。そうじゃないとこちらの委員会も何のためにやってきた

のかわからない。住民の方々の理解を得られず、支援を得られないそんな委員会はやりたくないです。我々の意見としてきちんと準備をしてやっていただきたいと思いますし、他の委員の皆さんもそう思っていると思います。よろしく願いいたします。

その他にいかがでしょうか。

ではよろしいでしょうか。それでは駅舎・駅前広場と大きく関係しますので、もう一つの議題であります駅周辺の活性化について事務局より説明をいただいて、併せて議論したいと思います。

(事務局) 先程も説明しましたが、本計画につきましては、東京藝術大学の北川原研究室が携わっていますので、詳しい資料の説明につきましては、研究室の山崎さんの方から説明をお願いします。

・小淵沢駅周辺地域活性化について

東京藝術大学 北川原研究室より説明を行った。

(会長) 少し時間が押してきましたが、もう少しだけお時間をいただきたいと思います。

今までの取り組み、それから10月に向けての取り組みという事でしたが、この委員会では、もっと先の色々な事を議論していかなければいけないと思いますので、若干今の報告に触発されて、何かご提案とご意見をいただければ、ありがたいと思います。

(委員) 今報告の映像を見させていただきましたが、東京藝大で、すずらん祭りへ参加しているということは、知ってはいたのですが、現実になかなか足が向くというところまでいかなかったのが、今の時点で反省をしているところです。実際に東京藝大の皆さんが地元で支援していただいているということで、あれだけの催しになっている訳ですけども、色々な催しをやってきたが、なかなか人を集めるということが容易なことではないということが現実になってきている。こういった会議の中でこういった知恵を絞って地域の状況というのを打開し、盛り上げていくかということが使命になっていくのかなと感じました。これからどう目を向けていったら良いのかということを考えなければいけないと今反省をしているところではございます。

(会長) とても重要な視点だと思います。ぜひ今後のこの委員会の中で建設的に議論が出来ればと思っています。

(委員) 実は、先程の東京藝大の報告の映像ですが、私は恥ずかしながら、家が近所にも関わらず、ちょうちんの展示場や地下通路についても行きませんでした。私共も年齢が高いため、店は開いているのですが、開店休業のような状況であるというような事があるのです。こういった若い方の発想というものを私自身ももう卒業したと思っていましたし、現実にはこの会議に指名されまし

たが、区長会がめいっばいのございまして、その中で指名されましたので不思議に思っていました。選ばれた以上は任期をまっとうしなければならないと思っております。もう少し若ければと残念には思っていますが、これから出来るだけ若い方に接するように今から心掛けて、活性化にはぜひご協力したいと考えております。

(会 長) ぜひよろしく願いいたします。

(委 員) 小淵沢の駅前商店街というのは衰退の一途をたどっております、過去20年間、それぞれ経営者もがんばってはいたのですが、どうやってもなかなか浮かび上がれないという状況でした。今、東京藝大が説明してくれたイベントに関しては、人を集めるという部分では大いに良かったと思いますし、対外的にも地名を言うてくれることは良いのですが、これからはもっと定着して、年間を通して駅前にある程度の活性化をもたらしてくれるようなアイデアをぜひ提供していただいて、もう一度昔の小淵沢駅前商店街を蘇えさせてくれるように若い人達にお願いしたいと思っております。

(会 長) ありがとうございます。

(委 員) 私の家は小淵沢の一番上で、ゴルフ練習所のすぐ下なのでありますが、テニスコートと民宿をしていますので、本当に残念ながらずらん祭に行けませんし、お客様を送り出す程度で、東京藝大の催し物を拝見していないのですが、ただ駅前の沈んでいる様子とか、様々な人達のアイデアの枯渇ということに危機感を感じていまして、私の家でテニスの会員を募集していますが、120名くらいいらっしゃいますけど、いらっしゃる方は茅野市から葦崎市までいます。新しくお住まいになっている方達が半分ぐらいを占めています。大東豊という地区です。住民票のある世帯が250軒くらいあるのですが、区に入っている方は136軒という新旧入り交った地区です。大泉町も新しい人達が増えているでしょうし、おらんうーたんに参加している人達は外から来た芸術家の方が多いと思っております。私はどちらかという、新しい方達の情報が多く入ってきます。その方達はたいへんお祭り好きで、このようなイベントが好きなのですが、その方達へのピーアールが不足しているかなと感じました。明野町の大根祭や清里花火大会などは、その方達も良く知っています。その方達から教えてもらっているような状況です。そういう方達にどうやって今行っているイベントについてお知らせするのか、参加してもらえるかという工夫もこれからしていく必要があると思っております。既存の方達だけでなく、そういう人達もターゲットにしていくピーアールというものを考えていく必要があると思っております。それから展示やイベントにお店の方達が潤うようなことをリンクさせて、入口から会場までの間にテーブルを出して、何か食べ物やバーゲンで服や靴下が買えるとか、お祭ムードに合わせた今ま

でない商店街も何が出来るかというのも活性化が図れるのではないかと思います。もったいないですね。商店街から展示会場の間にどのようなつながりがあったのかわかりませんが、本当に行ってみたいなという感じがします。来年は自分が参加できなくても、ピーアールの方でご協力させていただきたいと思います。

(会長) ありがとうございます。ちょうちんの次は靴下かもしれないですね。続いてどうぞ。

(委員) 私は小淵沢町に住んでいないので、無責任なことを言うかもしれませんが、小淵沢町の方はお許してください。

先日、駅舎を見ると伴に地域の様子を見てまいりました。

長坂町の場合は、ドーナツ化してしまっていますが、小淵沢町の皆さんは頑張って店をやっている、ここだけでも生活が出来ると感じています。だけど皆さんのお話は、頑張っても厳しい。衰退の一途だとお聞きしましたけども、東京藝大が来てくれたことで終わるのではなくて、継続性があって、地域の方を巻き込んで一緒にまちづくりをして活性化をしないと、すずらん祭などもそれで終わってしまうともったいないと思います。もっとボランティアや地域の方を巻き込んで実施ができれば良いと思います。せっかく良い企画なので、長坂町にこの企画があれば、ありがたいなと思います。長坂町も厳しい状況ではあります。

小淵沢町もまだ店を出されている方達もいらっしゃいますので、次世代につながるように、ぜひやっていただければと思います。

(会長) ありがとうございます。続いていかがでしょうか。

(委員) 今日初めて、この会に出席させていただいて、予備知識が無くて申し訳ないのですが、私は隣町の白州町に住んでいます。今日取り組みを報告していただきましたが、そんなことを知っていれば、もっと早くに参加させていただいたと思っています。赤松林での音楽祭はたいへん素晴らしいと思います。そういった眠っている資源に着目して、その場所で開催するという、また地下道を活かすという、研究者であったり、若い人の発想は素晴らしいと思いました。私の地区でもお祭を継続的にやってはいるのですが、やっぱり高齢化しており、厳しい状況です。先程の赤松林の話とは違うのですが、松くい虫の被害で枯れた木をたいまつにして、その灯りを使った幻想的な雰囲気の中でお祭を開催したら、結構うけたりしました。

ちょっとしたアイデアでだいぶ変わるものだなということを思いました。また、花作りや花いっぱい運動をやっているのですが、お金がかかるし、維持管理にかかる人手が確保出来ない。こういうことは地域の人達が真剣に考えて、うちのところのお祭ができたというのも、若い人達が、何とか

しなければという意欲からアイデアを出してやったのですが、地域の人達が真剣に自分達が持っている良い物っていうのはあると思います。そういうものを発見して、やろうという気持ちになる。若い力を結集させるということが大事だと思います。

あと、今日いただいた画で私達の地域づくりの参考にさせていただければと思います。学生の皆さんにはパワーがありますから、地域がまとまれば絶対に出来ると思います。

(会長) ありがとうございます。続いてどうぞ。

(委員) 昨年と今年、商工会の青年部部長の立場でありながら、すずらん祭り実行委員会の委員長をやらせてもらっていました。東京藝大の皆さんには、ちょうちんを飾っていただきまして、ご協力ありがとうございました。私は運営の方にいましたので、ちゃんと観ることができませんでしたが、素敵なお祭りだったと改めて思いました。これを下の世代にもしっかりと伝えるようにしますので、今後ともよろしく願いいたします。

(会長) ありがとうございます。続いてお願いいたします。

(委員) 私も東京藝大とは、それなりのお付き合いと言いますか、その時その時で、なかなか本腰を入れて協力出来ない状況で申し訳ないと思っています。今後とも小淵沢駅前の活性化というところでは、協力は惜しまないようにと考えています。

市の方に確認なのですが、駅前周辺の地域活性化という3本ある柱の一つかと思えますけど、これについては数年前から市民の意見や、要望だとかアイデアを拾い上げて、活性化とはどういうものか取り組んできたとお聞きしていましたし、基本的に北杜市としても、日頃から市民との協働ということを示されていることですが、協働ということは事業計画があれば、事業計画を行った後の協働ということでは無くて、事業計画のゼロベースのところから、市民を巻き込んで、一緒にアイデアを募って具現化していく過程がすごく活性化の要素として大事なところなのだろうと、これまでまちづくりをやってきた中で考えさせられた部分であります。今年度も活性化のワークショップも事業計画として、計画を予定されているのであれば、お聞きしたい。

(会長) それは、この委員会で決めましょう。今やるのかやらないのか聞いても何ですから、我々が決めることだと思いますから。

続いてお願いします。

(副会長) 今日、この東京藝大の皆さんのやっていただいた実績についてお聞きしまして、びっくりしております。僅かばかりの人達だけではもったいなかったなという印象が一つ。ところが、小淵沢でも10年以上やっているホースショーというお祭があります。今年も15,000人くらい来ています。これは、

今後ピアーールをどうするか。会場の問題があったと思います。皆さんが実施していただいた駅周辺にピアーールを行ったら、車を停める場所も無いほど、大混雑になったと思います。

要は、せっかくですから地域の関係する諸団体と十分な打ち合わせをしていくことが大事かなということを考えています。そうすることによって、東京藝大の活躍が世間にももっとピアーールできるのではないかと思います。また地域も活性化するのではないかと思います。

それから、こういったことをやるには、一体どこが中心としてやるのか、かかる費用はどうするのかといった大きな問題が出て来ると思います。ただ、私はまだ聞いてみてはいないのですが、小淵沢周辺地区都市再生整備計画というのは、こういう堅苦しい名前があるということは、補助事業でもあるのかな。そうすると地元の寄付だとか、補助金を活用しながら、東京藝大の皆さんの協力で実施していければ、よそには無い魅力のあるお祭になっていくのかなということを感じました。

あと最後ですが、ここへ来まして人口減少という言葉が急に持ち上がっているのかなと感じます。本当は統計を取っているのだから、わかっていたはずですが。深刻になってまいりました。市役所の立場からは言えないと思いますが、このまま人口が減っているから、行政も辛うじてやっていくでは済まされない所まで来ていると思います。もう集約化していかなければいけないと思います。小淵沢町でいうと何箇所に集約するかわかりませんが、行政経費がとてつとてつはいけないと思います。だけど間違いないのは、駅前を中心ですよ。ここは活性化していかなければまずいという考え方を私共も地域として持っていかなければならないと思っています。良いアイデアを皆さんで考えていきたいと思っています。

(会 長) 今副会長から、都市再生整備計画のアウトプットのイメージの話がちょっと出たのですが、何か市の方からこの計画の最終イメージというものが、もしあれば説明していただきたい。無ければ今後議論するしかないですが。

(事務局) イメージというか、駅前の整備事業とソフト面の活性化事業で平成24年度に採択されました。その名前が都市再生整備事業です。これまでに駅舎や広場についてはおおよそ決まったということで、活性化に向けて改めてこのような協議会を開催させていただきました。今後も東京藝術大学への委託業務も国庫補助事業の中で取り組んでいるような状況でありますので、よろしくお願ひします。

(会 長) 私はまだ事務局と相談していないので何とも言えませんが、通常この社会資本整備総合交付金事業というものは、5年間という枠組みがありますので、多分平成28年度までは、事業として取り組めると思います。ただ平成28

年度末までやるには、その前に事業計画というものがあって、予算や内容や効果というものを考えておかないとならない。今国交省も厳しいですから、そういうものが整理されていて、初めて実施出来るというふうに考えています。したがって、今日は第1回目だったので、これまでの東京藝大の取り組みについて感想や意見を出していただきましたが、今後2回目以降はもっと具体的に、検討ができたらと思います。

それから、東京藝大にやっていただく部分も多々あるのですが、きっかけ作りが東京藝大のやることであって、実際には住んでいる方やご商売をやっていらっしゃる方々の力というのが一番重要なので、そのような人達をどのように巻き込むかという意見もありましたが、そういうことをこの場で議論していきたいと思います。駅舎が完成するまで、2年半くらいありますので、2年半でできること、やらなければいけないことをこの委員会で明確にして、理想を追っても無理なものは無理ですので、現実にはできる具体的なことを2回目以降に議論していきたいと思いますので、そんな形で資料の方も作成していただけたらと思います。

ということで、時間も過ぎましたのでよろしいでしょうか。事務局の方にマイクを戻します。

・その他

振込先口座届について

次回開催予定時期について

事務局より説明を行った。

④閉会

会議終了 午後4時40分

会議録署名委員
